

# [単体情報]

## 株 式

### 大株主

<平成22年9月30日現在>

氏名又は名称	住 所	所有株式数	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合
		千株	%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	東京都中央区晴海1丁目8番11号	34,353	10.76
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内1丁目6番6号	9,778	3.06
明治安田生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内2丁目1番1号	8,867	2.77
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2丁目7番1号	8,309	2.60
株式会社損害保険ジャパン	東京都新宿区西新宿1丁目26番1号	6,071	1.90
住友林業株式会社	東京都千代田区大手町1丁目3番2号	5,911	1.85
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	東京都港区浜松町2丁目11番3号	5,463	1.71
住友生命保険相互会社	東京都中央区築地7丁目18番24号	5,415	1.69
第一生命保険株式会社	東京都千代田区有楽町1丁目13番1号	5,314	1.66
日本興亜損害保険株式会社	東京都千代田区霞が関3丁目7番3号	5,016	1.57
計		94,500	29.61

- (注) 1. 発行済株式総数に対する所有株式数の割合は、自己株式4,685,139株(1.44%)を控除して計算しております。  
 2. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は34,353千株であります。なお、その内訳は、信託口28,778千株、退職給付信託口5,575千株であります。  
 3. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は5,463千株であります。なお、その内訳は、信託口4,566千株、退職給付信託口897千株であります。  
 4. 株式会社損害保険ジャパンと日本興亜損害保険株式会社は、平成22年4月1日付で共同持株会社NKSJホールディングス株式会社を設立し、経営統合しております。

## 当行の最近3中間会計期間及び最近2事業年度に係る主要な経営指標等の推移

回 次	第106期中	第107期中	第108期中	第106期	第107期
決算年月	平成20年9月	平成21年9月	平成22年9月	平成21年3月	平成22年3月
経常収益	66,716百万円	49,739	50,447	119,207	101,546
うち信託報酬	—百万円	—	—	2	2
経常利益	9,263百万円	5,953	14,747	16,804	18,827
中間純利益	6,144百万円	4,064	8,793	—	—
当期純利益	—百万円	—	—	11,302	13,044
資本金	20,948百万円	20,948	20,948	20,948	20,948
発行済株式総数	323,775千株	323,775	323,775	323,775	323,775
純資産額	337,670百万円	343,365	360,540	310,239	357,075
総資産額	4,795,532百万円	4,990,469	5,276,850	4,888,025	5,186,989
預金残高	4,042,085百万円	4,233,538	4,343,613	4,193,507	4,344,856
貸出金残高	3,280,164百万円	3,372,188	3,420,952	3,368,179	3,422,178
有価証券残高	1,289,426百万円	1,295,111	1,410,297	1,184,318	1,422,280
1株当たり配当額	4.00円	4.00	4.00	8.00	8.00
自己資本比率	7.04%	6.88	6.83	6.34	6.88
単体自己資本比率 (国際統一基準)	10.40%	10.21	11.73	10.08	11.40
従業員数	2,575人	2,655	2,658	2,522	2,582
[外、平均臨時従業員数]	[1,140]	[1,178]	[1,223]	[1,142]	[1,188]
信託財産額	281百万円	361	368	371	379
信託勘定貸出金残高	—百万円	—	—	—	—
信託勘定有価証券残高	24百万円	24	24	24	24

- (注) 1. 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。  
 2. 自己資本比率は、期末純資産の部合計を期末資産の部の合計で除して算出しております。  
 3. 単体自己資本比率は、銀行法第14条の2の規定に基づき平成18年金融庁告示第19号に定められた算式に基づき算出しております。当行は国際統一基準を採用しております。  
 4. 第106期中(平成20年9月)、第107期中(平成21年9月)及び第108期中(平成22年9月)の平均臨時従業員数は、第2四半期会計期間における平均雇用人員数であります。